

# ドクター メモ

## 白内障

物のかすみや

光をまぶしく感じたら

眼科医に相談を

白内障は、カメラのレンズに相当する水晶体が濁る老化と関係の深い目の病気です。物がかすんで見えたり、光をまぶしく感じたりしながら、視力が低下します。進行を遅らせる点眼薬を治療に使いますが、日常生活に支障を来す

ようになると手術を行います。電車やバス、タクシーの運転手など職業上困る人の場合、視力が良くても手術を行うことがあります。反対に進行した白内障を長く放置しておく、視力が悪いほうの目が外側に向き、手術後は物が

二重に見えることがあります。

最近、日帰り手術を行うことも珍しくなくなりましたが、全身疾患のある人は通常入院して手術を行います。糖尿病の場合は、血糖をコントロールすることが必要です。また、脳こうそくや心筋こうそくで使用する抗凝固剤（血液を固まりにくくする薬）は手術前に中止することがあります。

白内障の手術では、ほとんどの例で眼内レンズを挿入し

ます。レンズの度数を変え、近視や正視にすることができません。手術前に医師と相談して、ライフスタイルに合わせた度数を選ぶことが大切です。手術によりほとんどの方は視力を回復しますが、水晶体を支えているチン小体が弱い場合など眼内レンズを挿入できないことがあります。また、眼底に病気がある場合は十分な視力回復は望めません。

日帰り手術ができる白内障ですが、手技的には決して

簡単な手術ではありません。眼科医とよく相談をして、手術を受けることをお勧めします。

吹田市医師会 岡本 紀夫

